

【ミッションステートメント】「いっしょに歩こう！プロジェクト」～日本聖公会東日本大震災被災者支援

- ① わたしたちは、東日本大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに歩きます。
- ② わたしたちは、被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっしょに歩きます。
- ③ わたしたちは、主イエス・キリストが、共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩きます。

5月も終わりに近づき、北海道にも遅かった春がやってきました。いっしょに歩こうプロジェクトが始まってからちょうど2年が経過し、一つの区切りの時が近づいています。しかし、釜石の支援は8月まで続きます。みなさまのご支援をどうぞよろしく願いいたします。

【室長より】

いつも支援室を覚え、祈りとご協力を賜りますことを感謝申し上げます。ご存知のように「いっしょに歩こう！プロジェクト」は震災直後より2年の計画で始まり、この5月いっぱいまで終結を迎えます。形や規模を変えて続けられる活動もあるようですが、「プロジェクト」としては今月で閉じられます。活動報告・会計報告・今後の事などのご報告がプロジェクトのほうより出されると思われそうですが、釜石ベースの場合は、2年前の夏より開始された支援センターの関係もあり、8月いっぱいまでは、今まで通りの支援活動がなされます。その後の詳細は、近日中にお伝えいたします。

釜石での活動はご存知のように、月の前半を東京教区が中心に、後半を北海道教区が中心に行われてまいりましたが、その働きは今まで通り必要とされております。それで、改めてお願いをいたしますが、6月の後半（1～2週間）・7月の後半（1～2週間）・8月の後半（1～2週間）に釜石に行くくださる聖職の方々、また、各月の後半（日数はともかくとして）支援活動に行くくださる信徒の方々、「この期間なら行ける」とお知らせください。祈りとご理解とご協力をお願いいたします。

【釜石での活動】

※海老原さん発信のブログより抜粋

5月15日

晴れ。午後から曇りの予報を吹き飛ばして晴れていた一日。

本日午前には月末のスポットプログラムの準備で仮設めぐり。著しく苦戦。行くところ行くところピタシ埋まっている状況。困った。でも何とかします。

お昼からは常連さんの昼食会。お弁当をとってみんなでご飯を食べる楽しい会です。みなさんちよっぴり持ち寄りで、美味しいお漬物と懐かしい味の牛乳かんが食卓を彩りました。牛乳かんがお袋の味で美味しかったのであります。

午後からはみんなでイチゴ大福作り。これは金曜日のレギュラープログラムの練習も兼ねてのイチゴ大福作りでしたが、笑いの止まらない楽しい時間になりました。器用不器用が現れるイチゴ大福作り。出来栄は売り物レベルとサルの脳みそに分かれますが、それぞれ美味しくいただきました。女子会なのに何の抵抗もなくまじれる私は性差を超越した存在に進化したのか、男子としての魅力を認められていないのか論議がまたれるところでもあります。センターは一日沢田さん。ご苦労さまでした。いつも餅つき後に杵を直してくださる上中島のSさん、ありがとうございます。来月もう一回ありそうなのでよろしく。

【いっしょに歩こう！プロジェクト】

「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動の様子は、月一度発行予定の「ニュースレター」や、「いっしょに歩こうプロジェクト！」ホームページ<http://nस्क.org/walk>で、ご覧いただけます。

【支援室の活動】

インターネットで支援室ブログが見られます。毎日の釜石ベースの活動もアップされます。<http://nस्कhokkaido.blog89.fc2.com> 又は、「日本聖公会北海道教区ホームページ」→「東日本大震災」→「震災支援室ブログ」の手順でご覧下さい。

【震災支援室より】

- ◎ 支援室ニュースは、各教会において掲示下さると共に、増刷して配布ください。支援室ニュースのバックナンバーは、日本聖公会北海道教区のホームページにでも見る事ができます。
- ◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】 電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377

Eメールアドレス：saigai@nस्क-hokkaido.jp

【釜石ベース】〒026-0031 釜石市鈴子町5-4 「聖公会 釜石被災者支援センター」

☎0193-55-4524、090-6999-7840

Eメールアドレス：nस्क311@yahoo.co.jp